

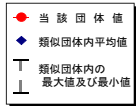
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

岡山県笠岡市

| | | | | |
|--------|------------|-----------------|---------|-------|
| 人口 | 52,854人 | (H25.3.31現在) | 実質赤字比率 | -% |
| うち日本人 | 52,555人 | (H25.3.31現在) | 実質赤字比率 | -% |
| 面積 | 136.03 | km ² | 実質公債費比率 | 11.8% |
| 歳入総額 | 22,051,014 | 千円 | 将来負担比率 | 84.3% |
| 歳出総額 | 21,401,631 | 千円 | | |
| 実質収支 | 423,868 | 千円 | | |
| 標準財政規模 | 13,673,039 | 千円 | | |
| 地方債現在高 | 19,648,069 | 千円 | | |

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



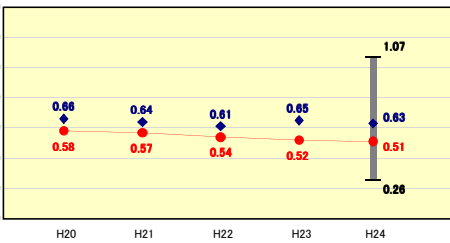
財政力

財政力指数 **[0.51]**

類似団体内順位 137/197 全国平均 0.49 岡山県平均 0.42

財政力指数の分析欄

前年度に比較して0.01ポイント下降し、依然として類似団体平均より低い水準である。人口の減少や、市内に中心となる産業が少ないこと等により、財政基盤が弱いため類似団体平均を下回っている傾向が続いている。投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを行うとともに、税收の徴収率向上を図り、歳入確保に努める。



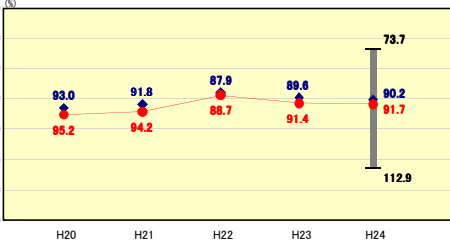
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[91.7%]**

類似団体内順位 128/197 全国平均 90.7 岡山県平均 88.5

経常収支比率の分析欄

前年度に比較して0.3ポイント上昇している。人件費、公債費、補助費の大幅減により、分子である経常経費充当一般財源は減となったものの、分母である市税、普通交付税、諸税がそれを上回る大幅な減となったことが要因となっている。
 今後も毎年度、財政運営適正化計画を見直しながら、健全化対策を進める。特に市債の一括償還による将来の公債費の軽減や人件費の抑制、下水道事業等への繰出金の抑制により、引き続き経常経費の圧縮に努める。平成25年度財政運営適正化計画では、90.0%未満を数値目標としている。



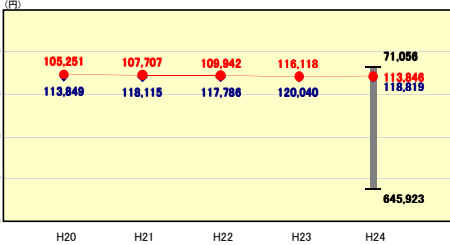
人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 **[113,846円]**

類似団体内順位 114/197 全国平均 116,454 岡山県平均 116,078

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

前年度に比較して、2,272円減少している。定員適正化計画による職員数の削減や内部事務経費の節減に努めているが、近年は人口減少が進んでいることもあり、人口1人あたりにすると、上昇傾向となっている。平成24年度では、退職手当が減少したことが主な要因となって、減となっている。今後も人口減少に注視しながら、適正な職員数の配置と内部事務効率化の対策に努める。



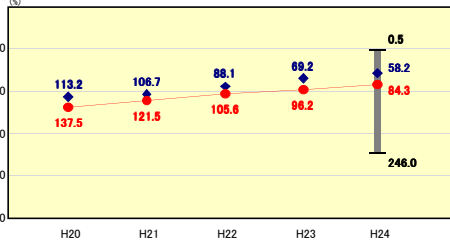
将来負担の状況

将来負担比率 **[84.3%]**

類似団体内順位 143/197 全国平均 60.0 岡山県平均 72.6

将来負担比率の分析欄

前年度に比較して11.9ポイント改善している。借入金の一括償還や継続した市債借入額の制限、また一部事務組合で運営しているゴミ焼却施設の建設時の借入金の償還が終了したことが主な要因となり、前年度に引き続き改善している。今後、防災対策事業など大規模なハード事業が続く予定のため、市債借入額は増加すると見込んでおり、比率が悪化しないよう、借入金の一括償還など将来負担を増やさない取り組みを継続して実施する。平成25年度財政運営適正化計画では、100.0%未満を数値目標としている。



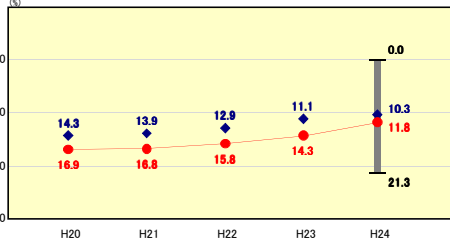
公債費負担の状況

実質公債費比率 **[11.8%]**

類似団体内順位 131/197 全国平均 9.2 岡山県平均 12.9

実質公債費比率の分析欄

前年度に比較して2.5ポイント改善した。財政運営適正化計画による借入金の一括償還や継続した市債借入額の制限により着実に改善しているが、依然として類似団体より高い水準となっている要因は、一部事務組合や下水道事業会計への繰出金に占める公債費及び国営笠岡湾干拓事業の負担金が、財政規模に対して多額なためである。今後も公債費を減少させるために、市債借入額の抑制や一括償還を継続的に実施する。平成25年度財政運営適正化計画では、10.0%未満を数値目標としている。



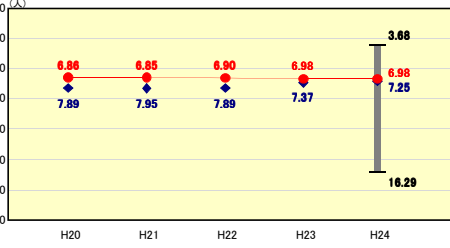
定員管理の状況

人口千人当たり職員数 **[6.98人]**

類似団体内順位 107/197 全国平均 7.00 岡山県平均 7.67

人口千人当たり職員数の分析欄

前年度と同数となっているが、実際の職員数は減少している。職員数については、市独自の定員適正化計画を策定し、平成16年度からの3年間で退職者不補充としたことで、類似団体平均より低い値となっている。今後も定員適正化計画に基づき、適正な定員管理をおこなう。併せて、職員能力向上のための研修や事務事業の効率化などにより、行政サービスの維持・向上を図る。



給与水準 (国との比較)

ラスパイルズ指数 **[108.7]**

類似団体内順位 163/197 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2

ラスパイルズ指数の分析欄

平成18年4月に給与構造を改革するとともに、平成19年1月には、給料表の独自見直しを実施するなど適正化に努めているが、平成24年度では、類似団体平均よりも2.7ポイント上回っている。引き続き給与の適正化に努める。

